

7:14,15 「私たちは律法が霊的であることを知っています。しかし、この私は肉の者です。罪によって売り渡されています。自分のしている(生み出している)ことが私には分かりません。それは、自分が望むことを私が実行しているのではないからです。かえって、自分が憎んでいることを行っています。

7:24,25 「なんとみじめな人間なのでしょう、この私は。だれがこの死のからだから私を救い出してくれるのでしょうか。しかし、神に感謝します、私たちの主イエス・キリストをとおして。こうしてこの私は、心では神の律法に仕えています。ただ肉では、罪の律法に仕えているのです」

8:1,2 「こういうわけで、今や、決して処罰はありません、キリスト・イエスのうちにある者には。それは、いのちの御霊の律法(ローマ:御教え)が、キリスト・イエスのうちにあつて、あなたを罪と死の律法(ローマ:御教え)から、解放したからです」

8:3,4 「それは肉をとおして弱くされ、律法には不可能になっていることに関して、神はご自身の御子を罪の肉の似姿のうちに、罪の(きよめの)ために、遣わし、肉のうちにあつて罪を処罰されたからです。それは律法の要求(正しい判決)が満たされるためです、肉に従ってではなく御霊に従って歩む私たちのうちにです」

8:5,6 「それは、肉に従う者たちのうちにあつては肉に属することを考え、御霊に従う者は御霊に属することを考えるからです。それは、肉の思い(考え)は死ですが、御霊の思い(考え)はいのちと平安だからです」

8:7,8 「なぜなら、肉の思いは神に敵対するからです。それは神の律法に服従しません、いや、そうできないのです。肉のうちにある者は神を喜ばせることは、不可能です」

8:9,10 「しかし、あなたがたは肉のうちではなく、御霊のうちにあります。神の御霊は、確かに、あなたがたの住んでおられます。だれかキリストの御霊を持っていないなら、それは主のものではありません。しかし、キリストがあなたがたのうちにおられるなら、からだは罪をとおして死んではいても、霊が義をとおしていのちとなっています」

8:11 「イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊はあなたがたのうちに住んでおられるのですから、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あな

たがたの死ぬべきからだを生かすこととなります、あなたがたのうちに住んでおられる御霊をとおしてです」

<参照聖句>

ローマ 3:21-24 「しかし今や、律法から離れて、神の義が現わされたのです…すなわち、神の義がイエス・キリストの真実によって(を通して、媒介として)、すべての信じる人に与えられたのです…それはすべての人が罪を犯して、神の栄光を受けるに値しなくなっているからです。それで、神の恵みによって価なしに(無償で)義と認められることになりました、それはキリスト・イエスによる贖いをとおしてのものです」

ローマ 5:20-21 「律法が入ってきたことによって、違反が増し加わりました。しかし、罪の増し加わるところに、恵みも満ち溢れました。それは、ちょうど罪が死において支配したのと同じように、恵みもまた義(契約の真実)を通して支配するためでした。それは永遠のいのちのためで、私たちの主イエス・キリストをとおしてのことでした」

ローマ 6:5 キリスト・イエスにつくバプテスマによって「もし私たちが主の死の似姿に接ぎ合わされているのなら、主の復活とも同じようになるからです」

イザヤ 53:10 主のしもべが「自分のいのちを(罪の)代償のささげ物とするなら、末長く子孫を見ることができ、主(ヤハウェ)のみこころは彼によって成し遂げられる」

ローマ 6:11 「自分は罪に対して死んだ者であり、神に対して生きている者だと、認めなさい(見做しなさい)」

Ⅱコリント 5:17 「だれでもキリストのうちにあるなら、そこには新しい創造があります(その人は新しく造られた者です)」

Ⅰコリント 12:3 「聖霊によるのでなければ、だれも『イエスは主です』と言うことはできません、

Ⅰヨハネ 4:2 「人となって来られたイエス・キリストを告白する霊はみな、神からのものです」

Ⅰコリント 15:20 「今や、キリストは眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました」

Ⅱコリント 4:16 「たとえ、私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています」